※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１７

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語表現 B	2	3	英会話入門 場面フィット 80

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業で触れた表現を用いてペア・グループで協力してタスクに取り組もうとする授業です。
・伝わりやすさに注目し、主体的に英語でコミュニケーションを図ろうとする態度が重視されます。
・授業で行ったことが社会でどのように活用されるかを想定した活動を大切にしています。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第３学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	様々な内容の英文をゆっくりはっきりと話されれば自分に必要な情報を聞き取ることができる。	まとまりのある英文を一定時間内に読み各段落のトピック、例示、詳細などを抑えながら全体の概要を理解することができる。	自分のこれまでの経験、将来の夢や希望などについて、前もって準備し、メモを見ながら理由と具体例を添えて短く説明することができる。	視覚的補助を利用しながら、身近な話題についてスピーチをすることができる。	身近な話題に関して読んだり聞いたりした内容に対する意見や感想を基礎的な語彙を用いて書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	考査の代わりに複数回の実技試験を実施する。実生活で必要な語彙、文法、表現の知識があるか。授業で学習した知識や技能を書くこと、話すこと（やり取り・発表）を通じて、目的、場面、状況等に応じて、実際のコミュニケーションで活用することができるか。	考査の代わりに複数回の実技試験を実施する。学んだ語彙、文法、表現などを実際のコミュニケーションにおいて適切に使用することができるかどうか。既習の語彙、表現を用いて発表原稿などを書くことができるかどうか。	授業態度、小テスト、パフォーマンステスト、提出物等で判断する。異文化を理解し、主体的に英語を用いてコミュニケーションを取ろうとしているかどうか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	Chapter 7	聞くこと	a: 道案内ついての英語を聞き取ることができる。 b: 必要な語句や表現を理解することができる。 c: 英語を聞きながら適切にメモを取ることができる。	授業態度 パフォーマンス
		話すこと (やりとり)	a: 道案内をすることができる b: 適切な表現を使用して話すことができる。 c: 適切な相槌や反応を示し、やりとりすることができる。	授業態度 パフォーマンス
		話すこと （発表）	a: 学んだ表現を使用して英語で発表することができる。 b: 適切な資料を提示しながら英語で発表することができる。 c: 自分の意見や情報を伝えようとしている	授業態度 パフォーマンス 発表
		書くこと	a: 学習した語句や表現を適切に使用して原稿を書くことができる。 b: 使用場面に応じて適切な英文を書くことができる。 c: 主体的に取り組む	授業態度 提出物
	中間実技試験			
	Chapter 8	聞くこと	a: 乗り物を利用する場面についての英語を聞き取ることができる。 b: 必要な語句や表現を理解することができる。 c: 英語を聞きながら適切にメモを取ることができる。	授業態度 パフォーマンス
		話すこと （やりとり）	a: 相手の発言に対して質問をすることができる。 b: 適切な表現を使用して話すことができる。 c: 適切な相槌や反応を示し、やりとりすることができる。	授業態度 パフォーマンス
		話すこと （発表）	a: 学んだ表現を使用して英語で発表することができる。 b: 適切な資料を提示しながら英語で発表することができる。 c: 根拠を示して説明することができる	授業態度 パフォーマンス 発表
		書くこと	a: 学習した語句や表現を適切に使用して原稿を書くことができる。 b: 使用場面に応じて適切な英文を書くことができる。 c: 主体的に取り組む	授業態度 提出物
	期末実技試験			
2	Chapter 9	聞くこと	a　買い物や観光地での英会話を聞き取ることができる。 b: 必要な語句や表現を理解することができる。 c: 英語を聞きながら適切にメモを取ることができる。	授業態度 パフォーマンス
		話すこと （やりとり）	a: 相手と意見の交換をすることができる b: 適切な表現を使用して話すことができる。 c: 適切な相槌や反応を示し、やりとりすることができる。	授業態度 パフォーマンス
		話すこと （発表）	a: 学んだ表現を使用して英語で発表することができる。 b: 適切な資料を提示しながら英語で発表することができる。 c: 自分の体験や情報を伝えようとしている	授業態度 パフォーマンス 発表
		書くこと	a: 学習した語句や表現を適切に使用して原稿を書くことができる。 b: 使用場面に応じて適切な英文を書くことができる。 c: 主体的に取り組む	授業態度 提出物
	中間実技試験			
	Chapter 10	聞くこと	a: 友人との交流についての英会話を聞き取ることができる。 b: 必要な語句や表現を理解することができる。 c: 英語を聞きながら適切にメモを取ることができる。	授業態度 パフォーマンス
		話すこと （やりとり）	a: 相手と意見の交換をすることができる b: 適切な表現を使用して話すことができる。 c: 適切な相槌や反応を示し、やりとりすることができる。	授業態度 パフォーマンス
		話すこと （発表）	a: 学んだ表現を使用して英語で発表することができる。 b: 適切な資料を提示しながら英語で発表することができる。 c: 自分の意見や情報を伝えようとしている	授業態度 パフォーマンス 発表
		書くこと	a: 学習した語句や表現を適切に使用して原稿を書くことができる。 b: 使用場面に応じて適切な英文を書くことができる。 c: 主体的に取り組む	授業態度 提出物
	期末実技試験			
3	Chapter 11	聞くこと	a: 緊急事態における英会話を聞き取ることができる。 b: 必要な語句や表現を理解することができる。 c: 英語を聞きながら適切にメモを取ることができる。	授業態度 パフォーマンス

※令和４年度以降入学生用

		話すこと（やりとり）	a: 相手と意見の交換をすることができる b: 適切な表現を使用して話すことができる。 c: 適切な相槌や反応を示し、やりとりすることができる。	授業態度 パフォーマンス
		話すこと（発表）	a: 学んだ表現を使用して英語で発表することができる。 b: 適切な資料を提示しながら英語で発表することができる。 c: 自分の意見や情報を伝えようとしている	授業態度 パフォーマンス 発表
		書くこと	a: 学習した語句や表現を適切に使用して原稿を書くことができる。 b: 使用場面に応じて適切な英文を書くことができる。 c: 主体的に取り組む	授業態度 提出物
	学年末実技試験			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度